

舞台は基本的に泉家の居間で行われる。  
明治初期を思わせる調度品で統一され、古き良きお屋敷のイメージ。  
応接セットと、大きな飾り窓がある。

時折、別設定の場面もあり。このシーンはその典型である。

泉家の四女、咲子、現れる。

咲子

男はつらいよ、という映画があります。私はよく知らないんだけど、一番上の姉が大好きで、一年中ビデオで繰り返し見てるので、その名前は嫌ってほど聞かされてます。でもみなさん、私はこう思うんです。女だって辛いよ。実は…私の家には、母親も、父親もいません。母親は私を産んですぐに死んでしまい、あ、だから私はお母さんの顔を写真でしか知りません。あ、でも、別に何とも思っていないので、引かないで下さいね。あれ？ えーと、何話してたっけ。そうそう、実は父親もいないんです。父親は一人で私達を頑張って育ててくれてただけど、三年前、癌をこじらせて死にました。アレ？ 癌ってこじらせるって言わないっけ？ 兎に角、唐突に死んでしまったんです。私達、四姉妹を残して。

叶、明、実、現れる。

…終わったね。

(シクシク)

いい加減 泣き止みなよ アキ姉、

ねえねえ、明日も学校休んで良い？

馬鹿言っんじゃないの。明日からちゃんと行きなさい。

えー。

当たり前だっつーの。あんたいたって何もしないでしょ、家のこと。

叶 明 実  
咲子 叶 咲子 実

叶 あんただって何もしないでしょう。咲子、あんた来年は受験生なんだから、キチンと勉強しなさい。  
明 (シクシク)  
咲子 めんど臭いなー。学校かあ…。  
叶 ホラ、さっさと部屋で勉強しなさい。  
咲子 もう12時だよ。  
叶 だったら寝なさい。兎に角、明日から学校には絶対行かせるからね。  
咲子 ヘーイ。

咲子、離れる。

実 しっかし、何とかなるもんだね、三人でも。葬儀屋つてのは、生きてる人達にもサービス良いんだね。  
叶 ……考えないとね。  
実 ……何を？  
叶 これからのことよ。  
明 ……進学させるの？  
実 わ、聞いてた。  
叶 勿論。  
明 どうするの、お金。  
叶 何とかするわよ。  
叶 嫌だよ！ この家手放すの！  
実 私だつて嫌よ！ 咲子に聞こえるでしょ…。家は手離さないし、咲子もちゃんと進学させる。  
叶 無理じゃない？  
叶 薄情なこと言うんじゃないの。実、あんた自分の立場わきまえて物言いなさい。好き勝手に自分だけ研究に没頭してるくせに。  
叶 自分だつたら嫌でしょ？  
明 そうでした、我が家のスードラでした、私。  
叶 咲子にだけみじめな思いさせないわ。ちゃんと受験させる。  
明 ……どうやって？  
実 実際、火の車でしょ？  
叶 そう思うならあんた働きなさいよ！ 少しは！

咲子 と、まあ このようなり取りが当時繰り広げられたようです。長女の叶姉ちゃんは負けず嫌いなので、親戚のおばちゃん達

に同情されるのが我慢ならない、てのも少しあったみたい。

四人で生きてこつ。

四人で？

四人で。

他に誰がいる？

うえーん。

また始まった。

だって、叶が責めるから、

あたし！？

だって、責めたでしょ。叶はあたしが橘さんと結婚してれば良かったんだって、そう言いたいんでしょ！？

アキ姉、考えすぎ。

四人で生きてこつ。何をしてても。

何をしてても？

……何をしてても。

咲子

実際、大変だったみたいです。次女のアキ姉はアルバイト。三女の実は大学の研究室で働いてたので半分学生。叶姉ちゃんだって、一般事務。お世辞にも高い給料を貰ってるとは言えない。しかも、私達のこの大好きなこのお屋敷は、色々とお金がかかる……そこで、三人はこの際、キレイ事は言ってられないという結論に達しました。

…それで、何をするの？

…何って、

なかなか無いよお、女で稼ぎになる仕事って。

知ってるわよ、そのくらい。

あゝあ、一人くらい男がいるとこつという時、便利なのに。

また責めるうう。

だからアキ姉のことじゃ無いって！

嘘！みのりは私が橘さんを掴まえとけば良かったんだって、そう言いたいんでしょ！？ そうすれば私の分、食い扶ちが減るし、橘さん資産家だから色々援助してもらえたしって抜け目なく考えてるんでしょ！？

そうか。(ニヤリ)

……何？

実 叶

明

実

明

実

叶

実

叶

明

叶

実

叶

実

明

叶

明

実

明

叶

明

実

叶

叶 ……そうだよ。女だって辛いんだから、ちょっとぐらい、ねえ。(ニヤリ)

実 姉さん、顔がJホラーだよ。

明 うん。生まれつきだるうけど……

叶 ……思いついた。

明 & 実 え？

叶 思いついた。…私達四人で、商売を始めるのよ。

実 商売？

叶 そう。画期的な。この家にお金が無いなら…掴まえれば良いのよ。お金のある男を。

咲子 こうして、その商売は始まりました。